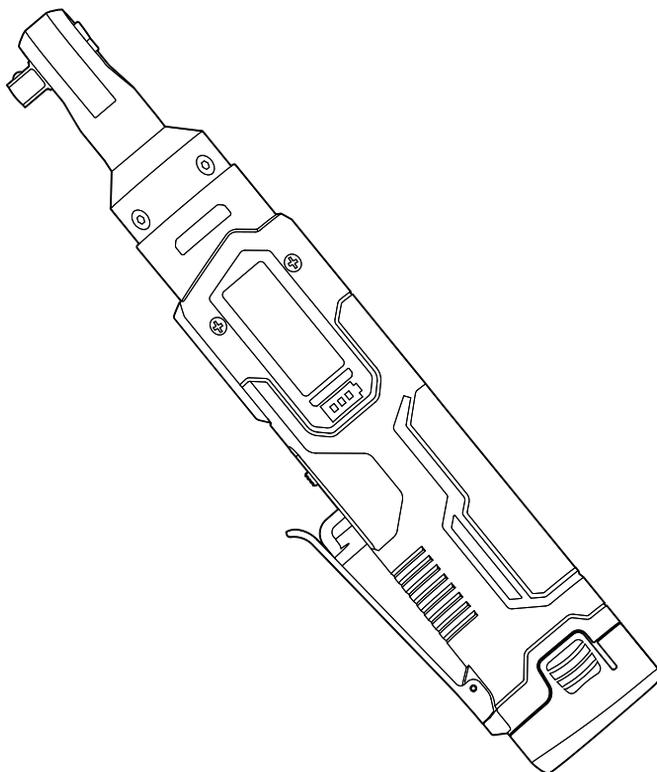


取扱説明書



充電式 ラチェットレンチ KDPB04-10

この度は、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- 本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、いつでも確認ができる場所に大切に保管してください。

電動工具の安全上のご注意



警告！すべての説明をよく読み、正しくお使い

ください。以下のすべての指示に従わなかった場合、感電、火災、または重大な人身傷害につながる恐れがあります。

この取扱説明書は、いつでも確認ができるようにお手元に保管しておいてください。

警告における「電動工具」とは、主動式（コード式）電動工具またはバッテリー駆動式（コードレス）電動工具を指します。

1) 作業エリアの安全性

- a) 作業エリアは清潔に保ち、十分な照明を確保してください。整理整頓されていない場所や暗い場所での作業は事故につながる恐れがあります。
- b) 爆発の恐れがありますので、引火性の液体、ガス、粉塵が存在するような環境では電動工具を使用しないでください。電動工具により発生した火花が、粉塵やヒュームに引火する恐れがあります。
- c) 電動工具の操作中は、子どもや周囲の人を近づけないでください。注意力が散漫になることにより、工具の制御に集中できなくなる恐れがあります。

2) 電気安全

- a) 電源コンセントは、この電動工具の電源プラグにあったものをお使いください。いかなる方法でも、絶対に電源プラグを改造しないでください。アース付き（接地型）の電動工具にアダプタープラグを使用しないでください。改造されていない電源プラグと、それに適合する電源コンセントを使用することで、感電の危険が低減されます。
- b) パイプ、ラジエータ、レンジ、冷蔵庫など、アース（接地）されているものに身体が接触しないようにしてください。体が接触することで感電の危険が高まります。
- c) 電動工具は雨や雪がかかるような場所や、濡れた状態では使用しないでください。電動工具に水が入ると感電の危険が高まります。
- d) 電源コードを乱暴に扱わないでください。電源コードを引っ張って電動工具を運んだり、引き寄せたり、電動工具の電源プラグを抜いたりすることは、絶対におやめください。電源コードを熱、油、鋭利な角、可動部などに近づけないでください。電源コードが損傷したり絡まったりしていると、感電の危険が高まります。
- e) 屋外で電動工具を操作する場合は、屋外での使用に適した延長コードを使用してください。屋外に適した電源コードを使用することで、感電の危険が低減されます。
- f) やむを得ず湿気の多い場所で電動工具を操作する場合は、漏電遮断器（RCD）で保護された電源を使用してください。漏電遮断器を使用することで、感電の危険が低減されます。

3) 身体的安全

- a) 電動工具の操作中は、注意を怠らず、自分の行っていることに注意し、常識に従ってください。疲

労時や、薬、アルコール、薬剤の影響を受けているときは、電動工具を使用しないでください。電動工具の操作中は、一瞬の気の緩みが深刻な人身傷害につながる恐れがあります。

- b) 個人用保護具を使用してください。保護メガネを必ず装着してください。防塵マスク、滑りにくい安全靴、安全帽、聴覚保護具などの保護具を適切な条件下で使用することにより、人身傷害を減らすことができます。
 - c) 工具が予期せず作動しないようにしてください。電源コンセントまたはバッテリーに接続したり、工具を取り出したり運んだりする前に、スイッチがオフになっていることを確認してください。スイッチに指をかけたまま電動工具を運んだり、スイッチをオンにしたまま電動工具に通電したりすると、事故につながる恐れがあります。
 - d) 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチを取り外します。電動工具の回転部分にレンチやキーを取り付けたままにしておくと、人身傷害につながる恐れがあります。
 - e) 手の届かない場所で無理に作業をしないでください。常に適切な足場とバランスを維持してください。そうすることで、不測の事態でも電動工具を制御しやすくなります。
 - f) 適切な服装で作業してください。ゆったりした服装やアクセサリ類は身に着けないでください。髪や衣服を可動部に近づけないでください。ゆったりした服やアクセサリ類、長い髪は、可動部に巻き込まれる恐れがあります。
 - g) 粉塵の抽出設備と収集設備を接続する装置が付属している場合は、これらが接続されて正しく使用されていることを確認してください。集塵機を使用することで、粉塵に伴う危険が低減されます。
 - h) 工具の頻繁な使用による慣れを過信して、工具の安全原則を無視してはなりません。一瞬の不注意が大怪我につながる恐れがあります。
- ## 4) 電動工具の使い方
- a) 電動工具を無理に操作しないでください。用途に応じた適切な電動工具を使用してください。適切な電動工具を使用することで、設計された回転数で、より効率的かつ安全に作業を行うことができます。
 - b) スwitchでオン / オフの切り替えができない場合は、電動工具を使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具を使用することは危険を伴いますので、お買い求めの販売店に修理の依頼をしてください。
 - c) 調整、付属品の交換、電動工具の保管の前に、電源コンセントから電源プラグを抜くか、バッテリー（取り外し可能な場合）を電動工具から取り外してください。こうした安全予防策により、電動工具が誤って作動する危険が低減されます。
 - d) 使用していない電動工具は子どもの手の届かない場所に保管してください。また、電動工具に精通していない人や、本取扱説明書を読んでいない人に操作させないでください。電動工具は、使用訓練を受けていない者が扱うと危険です。
 - e) 電動工具および付属品の保守を行ってください。

可動部のずれや食い込み、部品の破損など、電動工具の動作に影響を及ぼす恐れのある状態がないか確認してください。損傷している場合は、使用前にお買い求めの販売店に修理を依頼してください。電動工具の整備不良により、事故に繋がる可能性があります。

- f) 切削工具は鋭利かつ清潔に保ってください。刃先が鋭く、適切に保守された切削工具は、食い込みにくく制御しやすくなります。
- g) 電動工具、付属品、工具ビットなどは、作業条件や作業内容を考慮し、本取扱説明書に従って使用してください。電動工具を本来の使用用途とは異なる作業に使用すると、危険な状況につながる恐れがあります。
- h) ハンドルや保持する部分は乾燥した清潔な状態に保ち、油やグリースが付着しないようにしてください。ハンドルや保持する部分が滑りやすくなっていると、不測の事態に工具を安全に制御することができません。

5) バッテリー式工具の使い方

- a) 充電は、当社指定の充電器のみを使用してください。模造品、改造品、他社製のものなど当社指定以外の充電器を使用すると、発火の危険があります。
- b) 電動工具には、当社指定のバッテリーのみを使用してください。それ以外のバッテリーを使用すると、怪我や火災の危険があります。
- c) バッテリーを使用しないときは、ペーパークリップ、硬貨、鍵、釘、ねじなど、端子同士が接触する可能性のある小さな金属物に近づけないでください。バッテリーの端子をショートさせると、火傷や火災の原因となることがあります。
- d) 不適切な条件下では、バッテリーから液体が噴出することがありますが、絶対に触れないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、医療機関を受診してください。バッテリーから噴出した液体は、炎症や火傷の原因となることがあります。
- e) 損傷または改造されたバッテリーや工具を使用しないでください。損傷または改造されたバッテリーは予期せぬ挙動を示すことがあり、火災、爆発または怪我につながる恐れがあります。
- f) バッテリーや工具を火気や高温にさらさないでください。火気や130°C以上の高温にさらされると爆発する恐れがあります。注：摂氏130度（°C）は、華氏265度（°F）に置き換えることができます。
- g) 充電に関するすべての指示に従い、取扱説明書で指定された温度範囲外でバッテリーや工具を充電しないでください。不適切な充電や指定範囲外の温度での充電は、バッテリーを損傷し、火災の危険が高まります。

6) 修理

- a) 電動工具の安全性と信頼性を維持するため、修理は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。修理には純正の交換部品のみを使用する必要があります。

- b) 損傷したバッテリーは絶対に修理しないでください。バッテリーの修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。

壁裏などの隠れた配線に、ドリルやビットなどの先端工具が接触する可能性のある作業を行う場合は、絶縁されたグリップ面で電動工具を保持してください。

先端工具が「活線」と接触すると、作業者が感電する恐れがあります。

バッテリーの安全上のご注意

- a) バッテリーを分解したり、開けたり、破砕したりしないでください。
- b) バッテリーは子どもの届かない所に保管してください。子どもがバッテリーを使用する際は監督が必要です。特に小型バッテリーは、小さな子どもの手の届かないところに保管してください。
- c) バッテリーを熱や火にさらさないでください。直射日光の当たる場所での保管は避けてください。
- d) バッテリーをショートさせないでください。バッテリーを箱や引き出しの中に無造作に保管しないでください。バッテリー同士の端子部の接触によりショートしたり、他の金属物が原因でショートしたりする恐れがあります。
- e) バッテリーに機械的な衝撃を与えないでください。
- f) バッテリーが液漏れした場合は、液体が皮膚や目に触れないようにしてください。もし触れてしまった場合は、患部を大量の水で洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- g) バッテリーは当社指定の充電器以外では充電しないでください。
- h) 本機用に設計されていないバッテリーは使用しないでください。
- i) 模造品、改造品、他社製のバッテリーなどは使用しないでください。
- j) 当社指定の純正バッテリーを必ず使用してください。
- k) バッテリーは、常に清潔で乾いた状態を維持してください。
- l) バッテリーの端子が汚れた場合は、清潔な乾いた布で拭いてください。
- m) バッテリーは、使用前に充電する必要があります。当社指定の充電器を使用し、適切な充電方法については、充電器の取扱説明書をよく確認してください。
- n) バッテリーを長時間充電したままにしないでください。
- o) 長期間保管した後で最大限の性能を引き出すためには、バッテリーの充電と放電を数回くり返す必要がある場合があります。
- p) この取扱説明書は、いつでも確認ができるように手元に保管しておいてください。
- q) バッテリーは、指定充電工具への取り付け以外の用途には使用しないでください。
- r) 可能な限り、使用しないときは充電工具からバッテリーを取り外してください。
- s) バッテリーを電子レンジや高圧機器に近づけないで

ください。
t) バッテリーは、適切にリサイクルしてください。



警告



怪我のリスクを低減するため、必ず取扱説明書をお読みください。



燃やさないでください。



破損したバッテリーは充電しないでください。



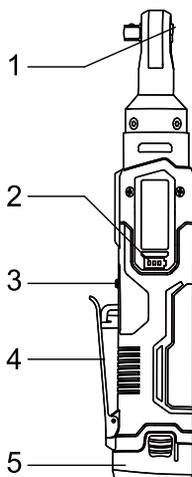
バッテリーは廃棄しないでください。使い切ったバッテリーは、お近くの回収場所またはお買い求めの販売店へご持参ください。

仕様

モデル	KDPB04-10
電圧	12 V
角ドライブ	9.5mm
締付能力	M5-M12
無負荷回転数	0-280 /min
トルク	54N·m
本機の正味重量 (バッテリーを除く)	0.8 kg

※当社は、製品改良のため予告なく仕様の変更をする場合があります。

概要



1. 正逆転切替ノブ
2. バッテリー残量表示ランプ
3. 安全スイッチ
4. スイッチの引金
5. バッテリー

使い方

バッテリーの充電

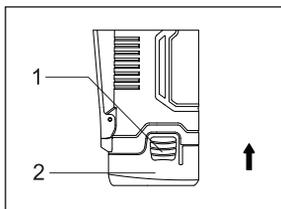
充電器のプラグを適切な電源コンセントに差し込みます。充電ランプが緑色に点滅し、充電器はスタンバイモードで動作します。バッテリーを充電器にしっかりと挿入します。充電ランプは緑から赤に変わり、充電中は点灯し続けます。挿入したバッテリーに異常が発生すると、赤と緑の充電ランプが交互に点滅します。バッテリーが完全に充電されると、充電ランプが赤から緑の点灯に変わります。充電後は、充電器のプラグを電源コンセントから抜きます。充電器をしっかりと持ってバッテリーを取り出してください。具体的な操作方法や注意事項については、充電器の取扱説明書を参照してください。

バッテリーの取り付け／取り外し

注意：バッテリーを取り付けたり取り外したりするときは、安全スイッチを必ずロック位置にセットしてください。また、スイッチの引き金は絶対に引かないでください。

1. バッテリーの取り付け

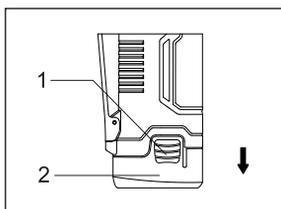
バッテリーを差し込む際は、ハウジングに正しく差し込むようにしてください。必ず「カチッ」という音がするまで差し込み、バッテリーが本機にしっかりと装着されていることを確認してください。取り付けが不十分な場合、バッテリーが誤ってハウジングから滑り落ち、作業者や周囲の人が怪我をする恐れがあります。バッテリーを差し込む際に、無理な力を加えたり、他の物で叩いたりしないでください。



注意：指定されたバッテリー以外は使用しないでください。他社製のバッテリーを使用すると、バッテリーの破裂による人身傷害や物的損害につながる恐れがあります。

2. バッテリーの取り外し

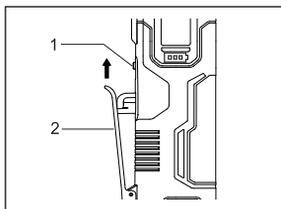
バッテリーは本機のグリップの下にあります。バッテリーのロック解除ボタンを両サイドから押してバッテリーを引き出してください。



安全スイッチの操作

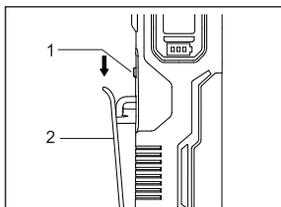
1. 安全スイッチのロックを解除する

安全スイッチを押して、ロック解除位置（スイッチの引金から離れた側）に合わせます。このときにスイッチの引金を引くと、本機が作動可能になります。



2. 安全スイッチをロックする

安全スイッチを押して、ロック位置（スイッチの引金に近い側）に合わせます。このとき、スイッチの引金は引けません。



注意：

本機を使用しないときは、誤ってスイッチの引金に触れて本機が作動しないように、必ず安全スイッチをロック位置にセットしてください。

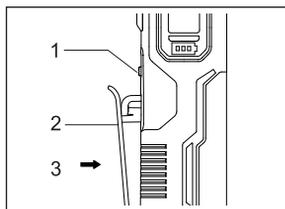
スイッチの操作

本機を始動させるには、まず安全スイッチをロック解除位置にセットしてから、スイッチの引金を引きます。スイッチの引金を引く量によって本機の回転数を可変調整できます。スイッチの引金を放すと本機は停止します。

注意：

・バッテリーを工具に挿入する前に、スイッチの引金 が正しく作動し、指を放すと「OFF」位置に戻ることを必ず確認してください。

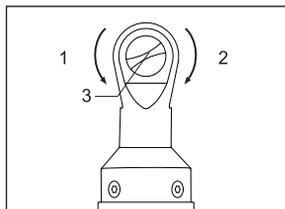
・低速で長時間運転しないでください。本機がオーバーヒートを起こします。



1. 安全スイッチ
2. スイッチの引金
3. 引く方向

正逆転切替ノブの操作

本機の上側にある正逆転切替ノブを回すことで、本機の出力を正（時計回り）または負（反時計回り）に設定でき、部材へのねじ込みまたはねじ抜きを行うことができます。



1. 反時計回り
2. 時計回り
3. 正逆転切替ノブ

注意：

操作の前に必ず回転方向を確認し、本機が完全に停止してから正逆転切替ノブを使用してください。本機が停止する前に回転方向を変えると、本機を破損する恐れがあります。

先端工具の取り付けと取り外し

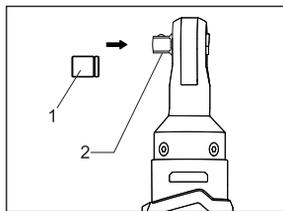
先端工具にはソケットやソケットビットなどが含まれます。

注意：操作前には必ず、安全スイッチをロックの位置にセットし、バッテリーを取り外してください。スイッチの引き金を無理に引かないでください。

1. ソケットの取り付け

ソケットをアンピルの一番奥まで差し込み、カチッと音がするのを確認してください。ソケットを本機

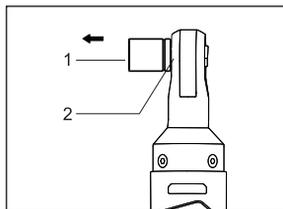
に取り付けたら、ソケットが本機のレンチヘッドにしっかりと固定されているかどうかを必ず確認してください。



1. ソケット
2. アンビル

2. ソケットの取り外し

ソケットを矢印の方向に引いてアンビルから外します。



1. ソケット
2. アンビル

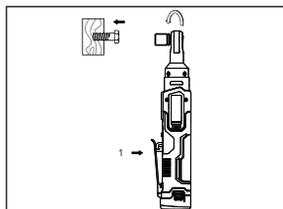
ボルト（ナット）の締め付けと取り外し

注意：ボルト（ナット）を締めたり外したりするときは、本機の回転が完全に停止したことを確認してからボルト（ナット）にソケットをセットしてください。

ボルト（ナット）の締め付け

本機の上側にある正逆転切替ノブを回して、本機の出力を時計回りに設定します。

ソケットをボルト頭にセットし、ボルト頭からソケットが外れない程度の力で押し付けます。スイッチの引金をゆっくりと引き、徐々に回転数を上げます。ボルトがしっかりと固定されたら、スイッチの引金を放します。



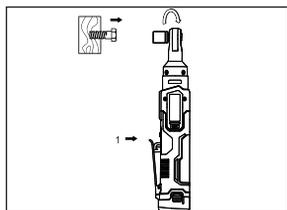
1. スイッチの引き金を引きます。

注意：ボルトはねじ穴に対してできるだけ垂直に当てます。

ボルト（ナット）の取り外し

本機の上側にある正逆転切替ノブを回して、本機の出力を反時計回りに設定します。ソケットをボルト頭にセットし、スイッチの引金をいっぱいに引きます。ボルトを完全に取り外したら、スイッチの引金

をゆっくり放します。

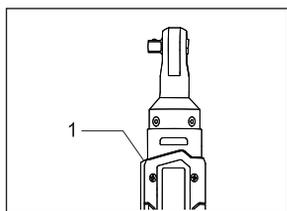


1. スイッチの引き金を引きます。

作業用ライト

スイッチの引金を引くと白色 LED 作業用ライトが点灯し、照明条件が悪い場合でも作業エリアを照らすことができます。

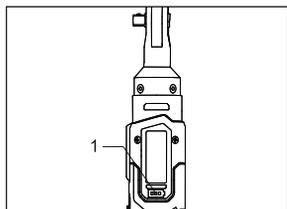
バッテリー切れが近づくと、白色ランプが毎秒約 2 回のペースで点滅します。本機の温度が高すぎる場合は、白色ランプは毎秒約 5 回のペースで点滅します。



1. 作業用ライト

バッテリー残量表示ランプ

スイッチの引金を引くと、電力インジケータに現在のバッテリー残量が表示されます。バッテリーの残量は、3つの緑色 LED ランプ（以下、緑ランプ）の点灯状態で確認できます。



1. バッテリー残量表示ランプ

緑ランプ	バッテリー残量
3 点灯	2/3 以上
2 点灯	1/3 以上
1 点灯	1/3 未満
3 点が 5 回点滅後に消灯	バッテリー残量が少ない

過負荷保護

操作中に過負荷が発生すると、モーターは回転を停止します。本機を再始動するには、まずスイッチの引金を放してリセットしてから、再度スイッチの引き金を引いてください。

過熱保護

本機の使用中に過負荷をかけないでください。負荷が高すぎる場合や、バッテリーの最大許容温度である 75°C を超える場合、電子制御システムにより、適切な温度範囲に戻るまで本機が停止します。

過放電保護

本機は、過放電からバッテリーを保護する保護回路装置を備えています。バッテリー残量が空に近づくと、この装置が作動して工具の電源が切れます。

バッテリーのリサイクル

天然資源保護のため、バッテリーは適切にリサイクルしてください。バッテリーにはリチウムが含まれています。リサイクルに関する情報については、最寄りの地方自治体やお買い求めの販売店にご相談ください。使用できなくなったバッテリーは取り外し、ショートや漏電を防ぐため、端子を強力なテープで覆ってください。バッテリーのカバーを開けたり取り外したりしないでください。

点検と保守

・点検

保管者は、定期的の本機の点検を行ってください。使用者は、使用する前に日常点検を行ってください。また、本機を保有する部署には、定期点検を行うスタッフを配置し、少なくとも毎年 1 回は確認を行うようにしてください。温度変化の激しい高温多湿のエリアや、作業条件の悪いエリアでは、状況に合わせて通常よりも頻繁に点検を行ってください。梅雨の季節に入る前までに点検を終えてください。定期点検に合格した場合は、検査「合格」のステッカーを、本機の適切な部分に貼り付けます。「合格」マークは明瞭かつ正確で、少なくとも本機の番号、点検部署名またはマーク、点検者名またはマーク、発効日を記載してください。

・保守

製品の安全性と信頼性を維持するため、修理、その他の保守または調整は、お買い求めの販売店に依頼してください。使用者および保守部門は、本機の当初の設計パラメータを勝手に変更してはなりません。また、原材料の性能を下回る代替材料や、当初の仕様に適合しない予備部品を使用してはなりません。

お手入れ

・通気口の清掃

本機の吸気口と排気口は、定期的に清掃するか、随時詰まりを取り除いてください。

・取り付けねじのチェック

すべての取り付けねじを定期的に点検し、締め付けが適切であるか確認してください。ねじが緩んでいたら、すぐに締め直してください。これを怠ると、重大な危険につながる恐れがあります。

・清掃

本機の清掃には、水や化学洗剤などの液体を使用

しないでください。乾いた布で本機を拭いてください。

環境保護

廃棄物処理

破損した工具、付属品、廃梱包材は、低環境負荷のリサイクルを行うため、地方自治体の規則に従って処理してください。

使用可能バッテリー・充電器：

操作中および保管中の周囲温度範囲：0°C～45°C

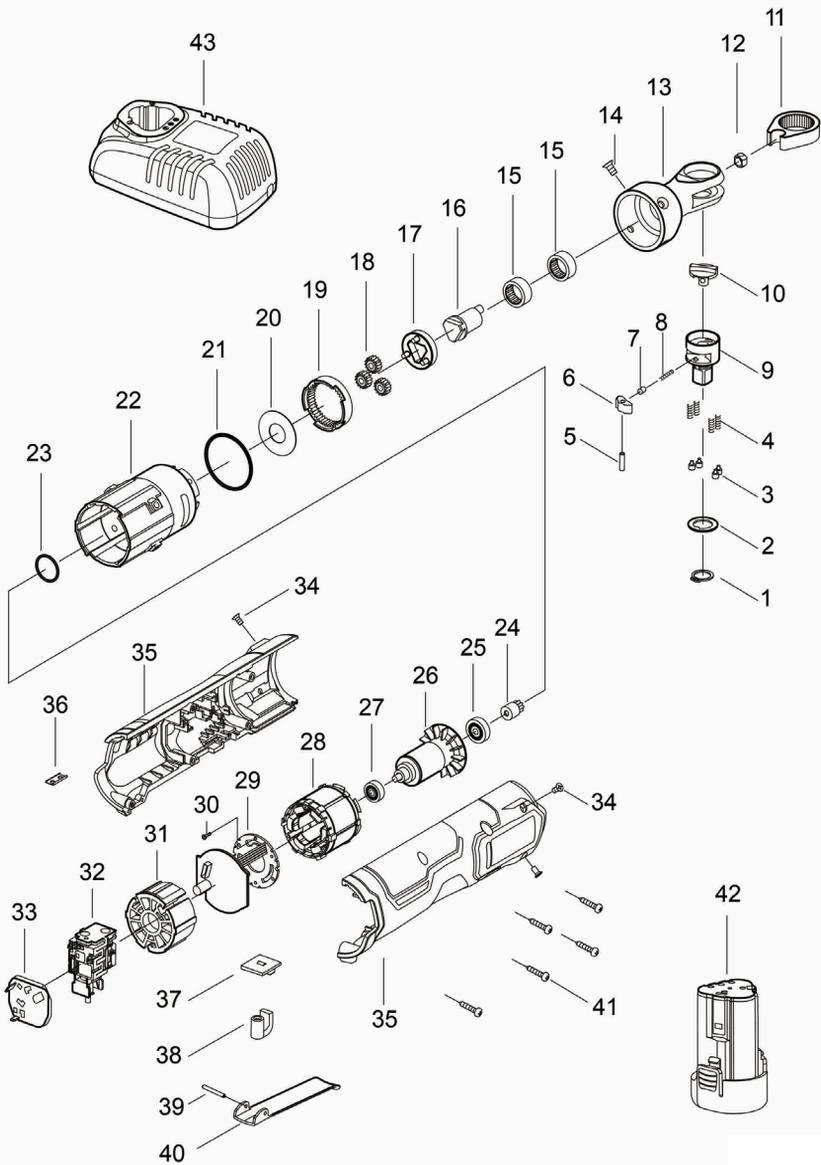
充電中の推奨周囲温度範囲：5°C～40°C

	充電器	バッテリー
モデル	FFCL12-4	LB1220-1

* 当社はバッテリーを継続的に改善しています。当社のサービスや最新情報を確認してください。

本機の説明

1	シャフト 12 用サークリップ	28	ステーター
2	環状リング	29	ブラシレスコントローラー
3	フリクションピン	30	なべ小タッピンねじ ST2.2x6
4	フリクションスプリング	31	モーターカバー
5	接続シャフト	32	12V ブラシレスラチェットレンチスイッチ (JIABEN- EP)
6	戻り止め	33	端子台
7	ステアリングピン	34	十字穴付き皿小ねじ M4x8
8	ステアリングスプリング	35	モーターハウジングアセンブリ
9	シャフト	36	クランププレート
10	ステアリングサイレントポール	37	安全スイッチ
11	ラチェットホイールコア	38	トリガー
12	ドライバーブッシュ	39	スプリングピン
14	六角穴付き皿ねじ M4x12	40	スイッチの引金
16	偏心シャフト	41	なべ小タッピンねじ ST2.9x16
17	プラネタリーキャリア	42	12V バッテリアセンブリ
18	プラネットギア	43	12V 充電器
19	インナーギア	T1	ラチェットホイールハンドルベアリングアセンブリ (13、15)
20	ワッシャー	T2	アーマチュアアセンブリ (24、25、26、27)
21	O リング (30x2)		
22	モーターハウジング		
23	O リング		



輸入販売元 ビルディ株式会社

Manufactured by Jiangsu DONGCHENG M&E TOOLS CO.,LTD.